

【情報共有】

(1) 能登半島地震に係る対応状況について

農林水産省関東農政局神奈川県拠点	○農林水産省ホームページ「令和6年能登半島地震に係る農林水産関係の被害・対応状況」 https://www.maff.go.jp/j/saigai/r6notojishin.html
国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所	○TEC-FORCE隊員派遣：被災状況調査班4名 派遣先：石川県七尾市・志賀町 期 間：1月8日～1月15日 ○TEC-FORCE隊員派遣：AIカメラ設置班2名 派遣先：石川県内 期 間：1月12日～1月15日 ○災害対策用機械派遣：建設機械派遣班（協力会社：新日本ロードメンテナンス株式会社） 派遣先：富山防災センター（現地の拠点として給水支援を実施） 期 間：1月11日～
国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所	○対応状況 1月6日(土) 1地震災害対策応援支部を設置し、注意体制に入る。 1月6日(土) 1北陸地方整備局富山防災センターへ照明車を派遣。 1月17日(水) 照明車が帰還。 1月22日(月) 北陸地方整備局富山防災センターへTEC-FORCE隊員を派遣。 ○ホームページ 【関東地整】 https://www.ktr.mlit.go.jp/saigai/kyoku_dis00000883.html 【京浜河川】 https://www.ktr.mlit.go.jp/saigai/keihin_dis00123.html

<p>NTTドコモ 神奈川支店 (ドコモCS神奈川 支店)</p>	<p>○対応状況 1月2日より神奈川より北陸へ支援開始（全国各県からも支援） 1月22日までに神奈川支援人数：93人日 主に移動基地局車による電波エリア提供、移動電源車による基地局電力供給による復旧を実施</p> <p>○横浜市において想定する課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波、道路陥没に伴う道路遮断（復旧活動支障） ・横浜市内における燃料補給方法（ガソリンスタンド機能停止懸念） ・弊社復旧活動における全国受け入れ態勢（車両前線基地確保）
<p>(株)NTTファシリティーズ</p>	<p>○災害対策室が立ち上がり、最寄り事業所から駆けつけ困難箇所を除き、NTTグループの建物調査を実施。</p> <p>○被害を受けた建物は複数ビルあり、倉庫の傾き、ガラス窓のひびなどであり、建物の主要構造部への被害は見受けられなかった。</p> <p>○北陸エリアへの支援物資の提供を本社より発送。</p> <p>○対応状況は、随時社内ホームページにて社員に共有。</p>
<p>日本通運(株) 横浜支店</p>	<p>○対応状況 1月4日～11日 14台被災地向け緊急物資輸送を実施 主な依頼元は全日本トラック協会（当社本社経由）、日本赤十字社（当社本社経由） 1月12日以降実績無し</p>

東京電力パワーグリッド(株)神奈川総支社

○対応状況

1月3日北陸電力送配電からの要請を受け、1月4日東京電力パワーグリッドより79名の第一陣が石川県に入った。

各送配電事業者に地域が割り当てられ、主に発電車対応と高所作業車による配電線の復旧作業を行っている。

神奈川エリアからは4人1班が招集され、順次交代しながら作業にあたっている。



一般社団法人横浜市
薬剤師会

○モバイルファーマシーの派遣

(日本薬剤師会の要請に基づく横浜市薬剤師会の取組)

【支援先】

石川県鳳珠郡能登町宇出津で活動中

【派遣人員等】

市薬剤師会の薬剤師 4人

【期間】

1次派遣：1月10日～1月15日

2次派遣：1月14日～1月19日

3次派遣：1月18日～1月23日

4次派遣：1月22日～1月27日

5次派遣：1月26日～1月31日

6次派遣：1月30日～2月4日

【活動内容】

現地で活動しているDMA T等と連携した災害処方箋の
調剤及び服薬指導など

【参考：モバイルファーマシー主要設備等】

通常の車両性能のほか、居住性（ベッド、トイレ、エアコン等）を備え、
調剤に必要な調剤棚、電子天秤や自動分包機、水剤調剤台、クリーンベンチ、
保冷庫、パソコン等を搭載するほか、災害時対応のためMCA無線を設置



<p>公益社団法人 神奈川県看護協会</p>	<p>○対応状況 1月12日から災害支援ナース2名ずつを3泊4日で継続して現地の避難所等に派遣し、救護所を開設、他チームとともに避難者の健康管理や避難所設備を含め衛生管理等を行っている。また、他チームとともに医療活動にも携わっている。 現在、1月30日までの派遣が決定しており、引き続き情報収集と情報提供を繰り返し行っている。</p> <p>○横浜市において想定する課題等 今回の能登半島地震における現地の指揮命令系統が統一されていないことで、活動している災害支援ナースが混乱する事態が生じた。 横浜市での発災時は規模も異なるが、指揮命令系統の混乱は現場に直結するため、訓練等での確認の必要性を感じている。</p>
<p>横浜エフエム放送 (株)</p>	<p>○対応状況 発生直後に速報として報じた他、津波注意報、津波警報発表中は、継続して状況を放送で伝えた。</p> <p>○横浜市において想定する課題等 元日の発生であったため、社員間のコミュニケーションが困難であった。 横浜市で同様の規模の地震があった場合も、通信困難になる懸念があり、代替の通信手段を検討中。</p>

<p>一般社団法人 神奈川県トラック協会</p>	<p>○協定に基づく自治体からの要請を受けて被災地への救援物資輸送を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【川崎市要請】1月4日 川崎市の拠点から富山県氷見市の拠点に輸送 ・【小田原市要請】1月5日 小田原市の拠点から石川県金沢市の拠点に輸送 ・【神奈川県要請】1月7日 厚木市の拠点から石川県羽咋郡志賀町の拠点に輸送 ・【鎌倉市要請】1月10日 鎌倉市の拠点から石川県輪島市の拠点に輸送 ・【神奈川県要請】1月12日・15日・18日 厚木市の拠点から石川県鳳珠郡能登町の拠点に輸送
<p>海上自衛隊横須賀地方総監部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○舞鶴地方総監部への支援要員の派出 ○入浴支援器材及び救援物資の輸送 ○医療支援班の派出
<p>一般社団法人 横浜建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○対応状況 <ul style="list-style-type: none"> 期間：1月10日～1月16日 7日間 場所：志賀町 人員：6名－3台 (2 t 作業車・3 t セーフティダンプ・4 t セーフティダンプ・0.13m³ユンボ) 資材：山留材・エンジンポンプ・カラーコーン・バー 活動：漏水調査・メータ補助止め・漏水修理(φ25mm・φ100mm H I V P) ○横浜市において想定する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路の確保 ・各区に災害用備蓄庫を設置し区民の水・食料・簡易トイレ等を確保 ・災害時の避難所、備え等のPR

横浜市役所

○令和6年能登半島地震関連情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/bosai/shien/r6-noto/>